

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



今月の色：門松

2021年
1月1日発行
No.487

January

1

特集 わが街で健康に暮らす 15 老化を治療する時代？ P-1

- 年頭のご挨拶 P-4
- 診療科・センター紹介 呼吸器内科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
慢性呼吸器疾患看護認定看護師 P-6



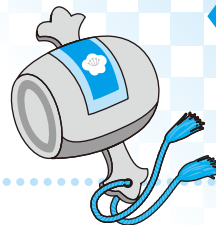
病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

老化を治療する時代？



超高齢社会になった今では、地域で暮らす一人一人が健康意識を持つ必要があります。このシリーズでは、毎回健康に関するキーワードを取り上げ、住んでいるこの場所で健康に暮らすための方法を、一緒に考えていきます。

老化とは

人は年を取ると、以前できていたことができなくなてきます。年齢を経るごとに脳、筋肉、消化管、肝臓…などさまざまな臓器が目に見える変化（病理学的変化）を生じ、その機能の低下を引き起こしていきます。この変化を一般的に「老化」と呼んでいます。

臓器の機能低下は、さまざまな病気を引き起こします。たとえば脳の老化はアルツハイマー型認知症を、心臓血管の老化は心不全を引き起こします。では、老化を食い止めることで病気は防げるのでしょうか。

老化を遅らせるという考え方

WHOの「国際疾病分類」が30年ぶりに大幅に改訂さ

れることになり、老化に関する項目が追加されます。近年の老化を防ぐ研究発表が相次いでいる状況を加味しての追加と考えられます。「老化」自体を病気として扱う表記ではありませんが、老化を予防することで老化が引き起こす病気を予防してしまおうとする動きの現れと考えることができます。

老化の基礎研究は かなり進んでいる

基礎研究（細胞・動物実験など）では、老化の仕組みが科学的に解明されつつあり、老化を防ぐ方法が発見されています。例えば運動、食事、薬剤（カロリー制限作用模倣物質）内服などが挙げられ、適度な運動をすることで寿命が長くなることは間違いなさそうですし、カロリー制限をすると採血データは改善することが証明されています。薬剤では糖尿病の治療で使われるメトホルミンが候補に挙げられ、現在アメリカで臨床試験が行われており結果が待たれます。

（参考：American Federation For Aging）

基礎研究が 正しいからといって、人で 効果があるわけではない

細胞やマウスでの実験で証明された方法が実際に人に適応できるかどうかは、「人に対する臨床試験の結果」がないと分かりません(2020年7月号「治験って知っていますか?」参照)。人で効果が証明されていない高価な薬剤をサプリメントとして輸入して内服している方もいますが、効果・副作用が証明されていないため、見合った効果が出ない場合は「自己責任」となります。「薬剤を用いた老化治療はもう少し先か?」といったところでしょうか。

ただ、適度な運動は健康を害する可能性が低いと考えられますので、老化を防ぐためにも適度な運動を欠かさないことが大切です。

今後もさまざまな老化研究の進歩を“批判的に吟味”していく必要があるのではないのでしょうか。



文責:総合診療内科 主任医長 本間 陽一郎

年頭の
ご挨拶

あけましておめでとうございます

新型コロナウイルス感染症により私たちの当たり前の日常が大きく変わり、皆さまも不安な日々を過ごされていると思います。当院は引き続き感染対策をしっかりと行い、必要とされています診療機能を維持し地域に貢献できるように、職員一同努力してまいります。

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息することを祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



2021年 新春 院長 岡 俊明

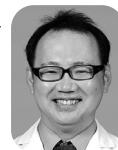


ビデオメッセージも配信しています

新任
医師紹介

リハビリテーション科

コノ ヨシヒサ
河野 仁寿
久留米大学
(2001年卒)



耳鼻咽喉科

ワタナベ ナオキ
渡邊 尚喜
浜松医科大学
(2015年卒)



呼吸器内科



肺炎治療の地域医療連携を進めています

呼吸器内科では、肺炎、気管支喘息、肺気腫／COPD、間質性肺炎、肺がんなどの患者さんを診療しています。中でも肺炎は日本における死因の第5位を占めており、高齢化に伴い患者数や死亡数の増加が問題となっています。

高齢者が肺炎になると、もとの生活に戻るまでに長期間かかることも珍しくありません。そのため肺炎治療だけでなく看護、介護、リハビリを含めたチームでサポートを行っています。また当院での急性期治療のあとは連携施設での慢性期治療・療養につなげるため、病院のみでなく、地域全体で肺炎の患者さんを支える仕組みとして肺炎地域連携パスを開始しました。

コロナウイルス、インフルエンザにも気を付けて、みんなで元気に今年の冬を乗り切りましょう。

文責：呼吸器科 部長 橋本 大(写真前列中央)



慢性呼吸器疾患 看護認定看護師

呼吸器の診療を支えるスペシャリスト

慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、病状に応じた呼吸ケア(看護)を提供することで、患者さんの持つ力を引き出しQOL(生活の質)の向上を図ることを目的に活動しています。

慢性呼吸器疾患を患った方は、長期的な自己管理が大切です。自己管理は薬だけでなく、栄養、運動、酸素療法など多岐にわたります。そのため患者さんご家族が病状に応じた自己管理ができるよう、多職種(医師、薬剤師、リハビリ、栄養士)と連携しチームでサポートを行っています。また在宅酸素療法を導入した患者さんには、医師の指示のもと病棟看護師がご自宅に伺



い、退院後も希望に応じて地域の医療者につなぎ、住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう支援しています。

文責：看護部 中村 麻友美(写真上)・山本 将太



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話につながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



Organization Accredited
by Accreditation International



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証

日本医療機能評価機構認定

地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

聖隷浜松病院

検索